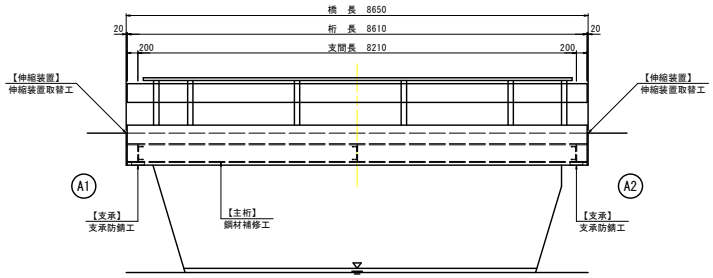
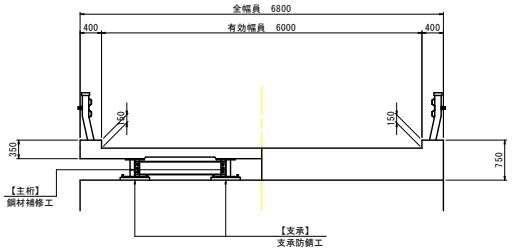
橋梁補修一般図
市野々橋

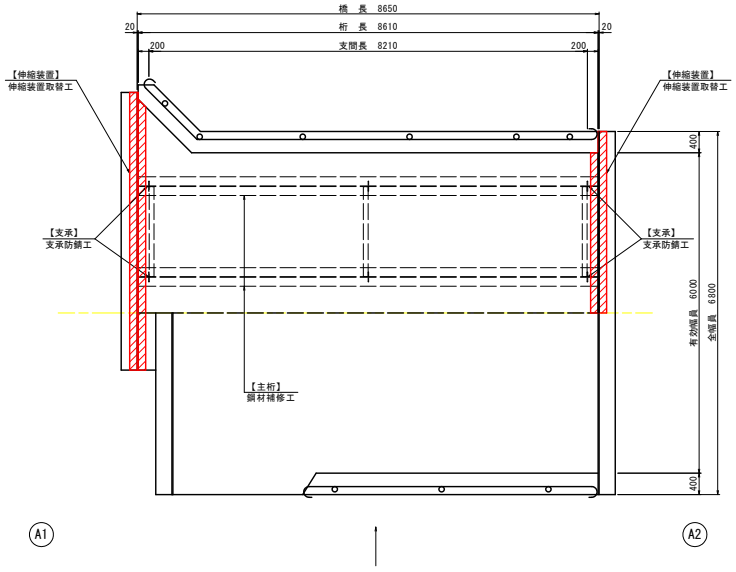
側面図　S=1:50



断面図　S=1:50



平面図　S=1:50



補修概要

工　種	種別・細別・規格	単位	数　量	備　考
鋼材補修工	ULTRA-WAX-TAPE同等品	m2	3.55	主桁
支承防錆工	ULTRA-WAX-TAPE同等品	m2	0.92	支承
伸縮装置取替工	MMジョイントDS型同等品	m	8.60	伸縮装置

橋梁諸元

項　目	橋梁諸元
橋梁名	市野々橋（イチノノバシ）
路線名	市道市野々線
交差物件	河川
橋　長	8.650m
桁　長	8.610m
支間長	8.210m
全幅員	6.800m
有効幅員	6.000m
斜　角	90° 00′ 00″
上部工形式	H桁橋、RC床版橋
適用示方書	昭和47年
竣工年度	昭和48年(1973年)

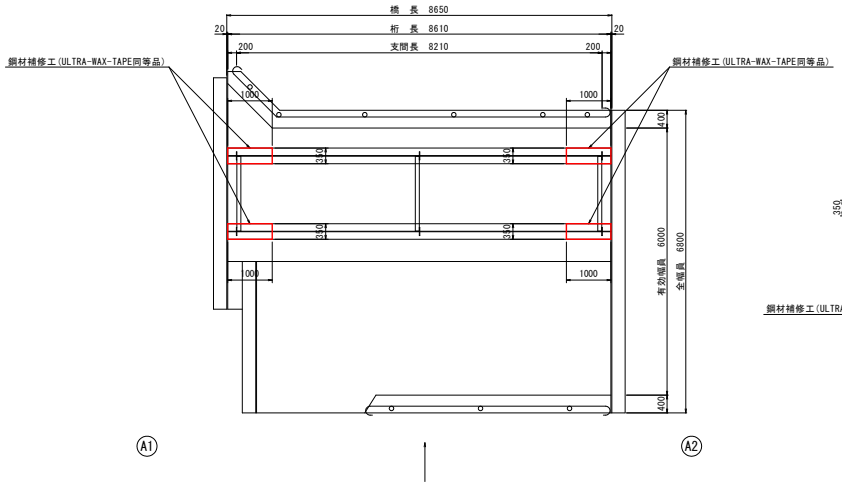
(注意事項)
1. 本図面は、点検調書および現地計測による寸法を記載したものである。

四　万　十　市			
工事種別	令和8年度　道メンテ　第1-4-1号 市道市野々線（市野々橋）橋梁修繕工事		
図面名称	橋梁補修一般図	縮　尺	図示
路線名	市道市野々線		
工事箇所	四万十市　西土佐江川　地内		
設計種別	実施設計	図面番号	1/4
事務所名	四万十市　産業建設課		
会社名			

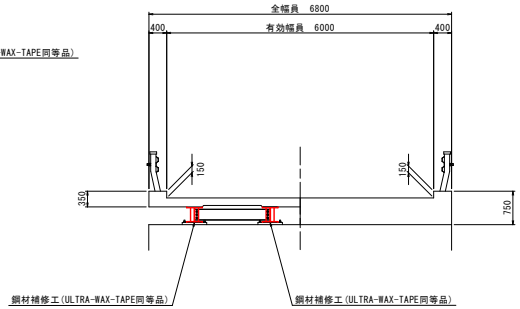
鋼材補修工（主桁）詳細図

市野々橋

平面図 S=1:60

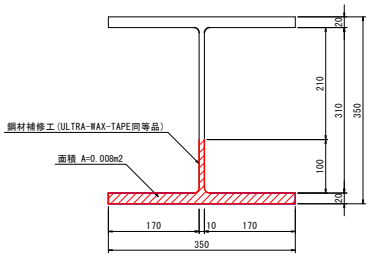


断面図 S=1:60

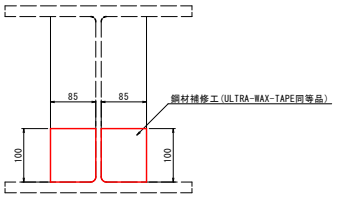


主桁断面図 S=1:5

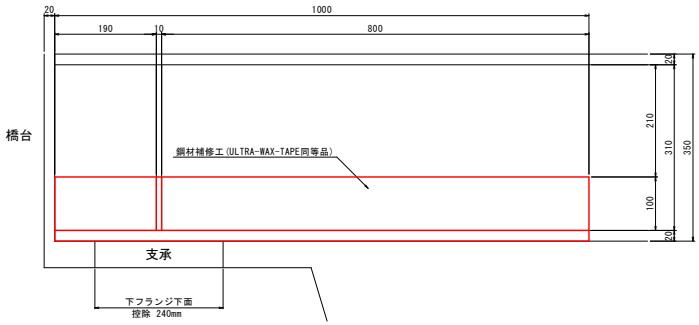
（下フランジ～ウェブ）



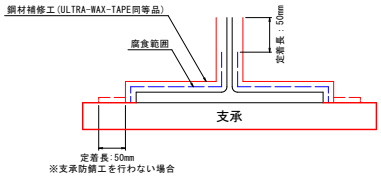
（補剛材）



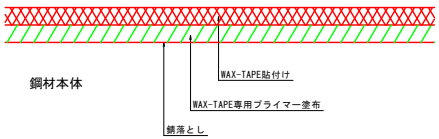
側面図 S=1:5



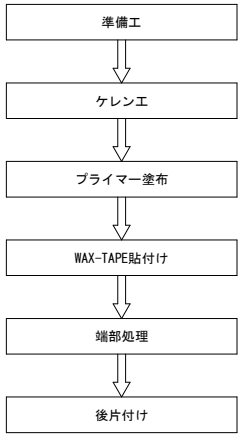
補修構成 S=Free



防食仕様 S=Free



鋼材補修　施工手順



スクレーパー等で浮き錆の除去を行った後、
ワイヤーブラシ等で施工面の埃・砂などのゴミを取り除く。

WAX-TAPE専用プライマーを施工面全体に均一に塗布する。
※目安塗布量 340g/m2　※手袋着用のこと

WAX-TAPEを施工範囲へ貼付け、しっかりと圧着する。
複雑な形状においてはハサミ等で加工し、形状に沿って施工する。
※WAX-TAPEを重ねる際は30mm以上のラップ幅を確保する
※貼付け時シートを引っ張って伸ばさないこと

端部・継ぎ目においてはシートを潰すように圧着し、
浮きがないことを確認する。
最後に、シート端部およびシート表面に付着したプライマーを拭き取る。

WAX-TAPEはNETIS No.SK-180017-VR同等品以上とする。

数量集計表

工　種	規　格	計 算 式	単 位	数 量
鋼材補修工	ULTRA-WAX-TAPE同等品	((0.100+0.170+0.020+0.350+0.020+0.170+0.100) x1.000+0.008+0.085x0.100x2x2-0.350x0.240)x4	m2	3.552

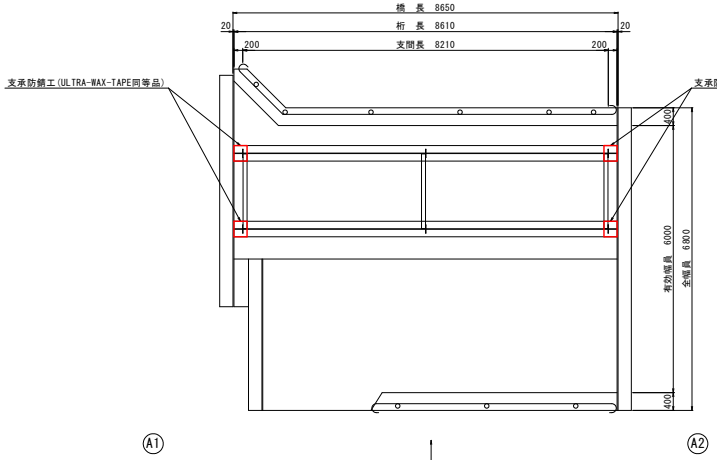
（注意事項）

1. 本図面は、点検調書および現地計測による寸法を記載したものである。
2. 施工に先立ち現地調査を行い、図面との整合性を確認すること。
   併せて監督職員の了承を得たうえで施工を行うこと。
3. 支承防錆工との同時施工を想定しているが、主桁のみ補修を行う場合は
   支承側への定着長(50mm)を確保するため、範囲を拡大すること。
4. 施工は手作業であり出来形不足が生じやすいため、余裕代として定着長を
   50mm程度確保している。

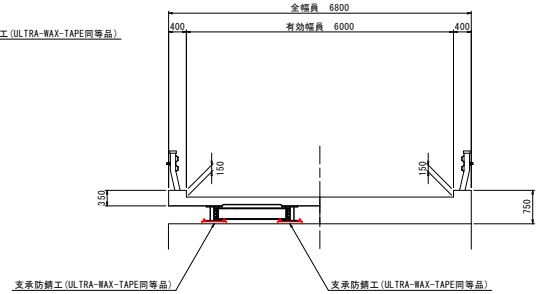
四　万　十　市			
工事種別	令和8年度　道メンテ　第1-4-1号 市道市野々線（市野々橋）橋梁修繕工事		
図面名称	鋼材補修工(主桁)詳細図	縮 尺	図示
路線名	市道市野々線		
工事箇所	四万十市　西土佐江川　地内		
設計種別	実施設計	図面番号	2/4
事務所名	四万十市　産業建設課		
会社名			

支承防錆工詳細図
市野々橋

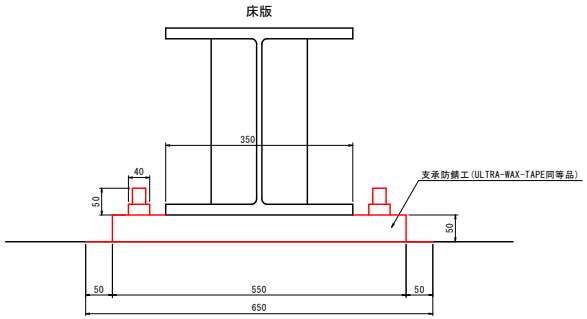
平面図 S=1:60



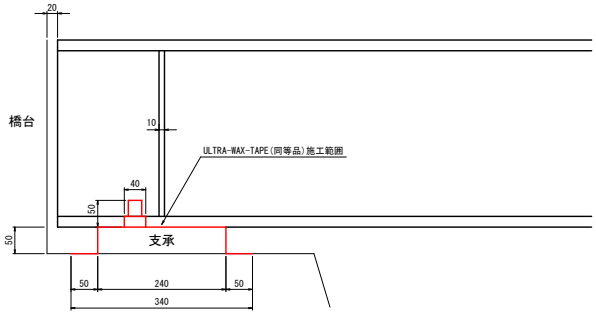
断面図 S=1:60



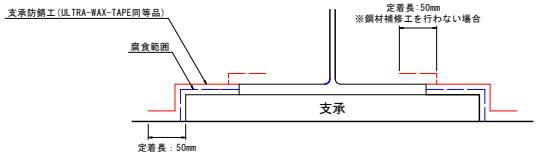
支承部断面図 S=1:5



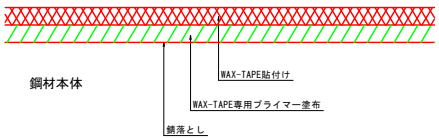
側面図 S=1:5



補修構成 S=Free

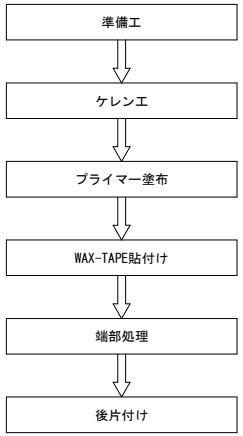


防食仕様 S=Free



WAX-TAPEはNETIS No.SK-180017-VR同等品以上とする。

支承防錆工　施工手順



スクレーパー等で浮き錆の除去を行った後、
ワイヤーブラシ等で施工面の埃・砂などのゴミを取り除く。

WAX-TAPE専用プライマーを施工面全体に均一に塗布する。
※目安塗布量 340g/m2　※手袋着用のこと

WAX-TAPEを施工範囲へ貼付け、しっかりと圧着する。
複雑な形状においてはハサミ等で加工し、形状に沿って施工する。
※WAX-TAPEを重ねる際は30mm以上のラップ幅を確保する
※貼付け時シートを引っ張って伸ばさないこと

端部・継ぎ目においてはシートを潰すように圧着し、
浮きがないことを確認する。
最後に、シート端部およびシート表面に付着したプライマーを拭き取る。

数量集計表

工　種	規　格	計　算　式	単　位	数　量
支承防錆工	ULTRA-WAX-TAPE同等品	(0.650x0.340-0.350x0.240+0.550x0.050x2+0.240x0.050x2 +3.142x(0.020x0.020+0.040x0.050)x2)x4	m2	0.924

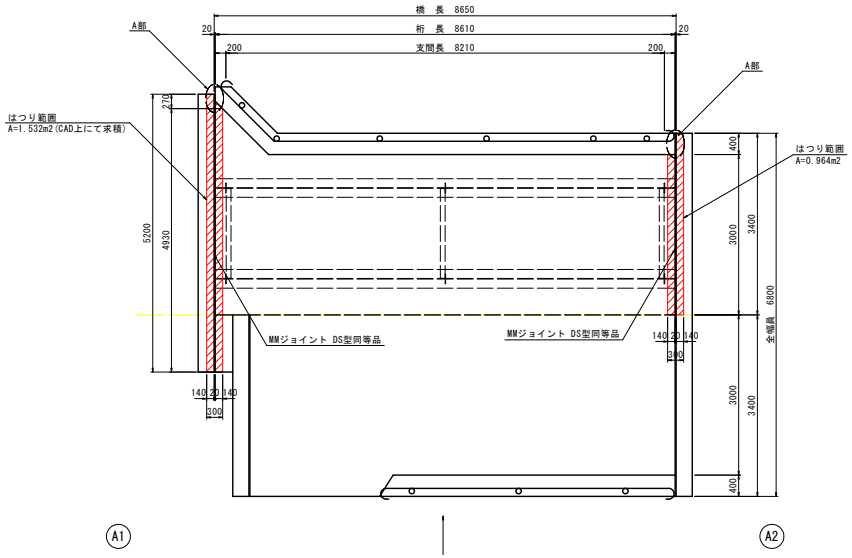
（注意事項）

1. 本図面は、点検調書および現地計測による寸法を記載したものである。
2. 施工に先立ち現地調査を行い、図面との整合性を確認すること。
   併せて監督職員の了承を得たうえで施工を行うこと。
3. 鋼材補修工との同時施工を想定しているが、支承のみ補修を行う場合は
   主桁側への定着長(50mm)を確保するため、範囲を拡大すること。
4. 施工は手作業であり出来形不足が生じやすいため、余裕代として定着長を
   50mm程度確保している。

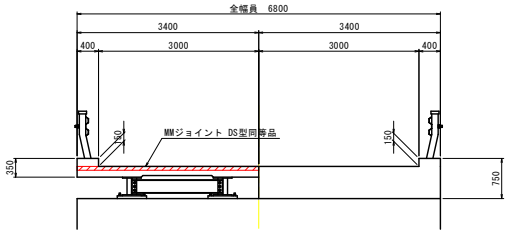
四　万　十　市			
工事種別	令和8年度　道メンテ　第1-4-1号 市道市野々線（市野々橋）橋梁修繕工事		
図面名称	支承防錆工詳細図	縮　尺	図示
路線名	市道市野々線		
工事箇所	四万十市　西土佐江川　地内		
設計種別	実施設計	図面番号	3/4
事務所名	四万十市　産業建設課		
会社名			

伸縮装置取替工詳細図
市野々橋

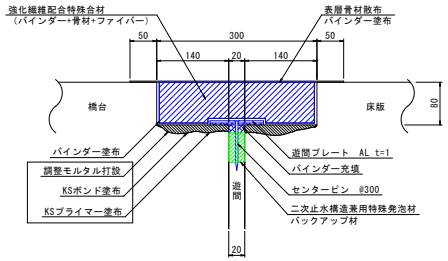
平面図　S=1:50



断面図　S=1:50

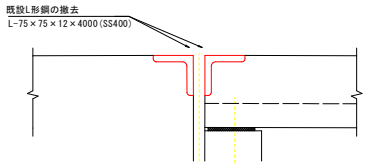


伸縮装置詳細図　S=1:5
(MMジョイントDS型同等品)

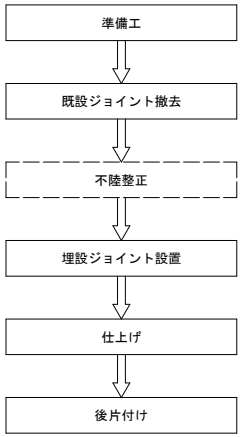


※床版に不陸がある場合は口内の工程を追加し調整する。
※遊間部にバックアップ材を設置し二次止水対策を行うこと。
※作業時に発生するマイクロクラックについてはKSプライマーを使用し補修を行うこと。

既設部材詳細図　S=1:5



伸縮装置取替工　施工手順



施工範囲に沿ってコンクリート面を切断後、
人力及びハンマードリル等によるはつり工を行い、既設ジョイントを撤去する。

施工基面に凹凸がある場合は、平坦になるように整形する。
コンクリート面の劣化等が無いことを確認の上、所定の標準厚まで底板調整（嵩上）を行う。
不陸修正前、斫り面にマイクロクラック対応プライマー（KSプライマー　0.6kg/m2）及び
専用打継用ボンド（KSボンド　0.9kg/m2）を塗布する

遊間プレートも設置後、下地部のバインダーを塗布する。
その後、強化繊維配合特殊合材を敷き均す。

振動ローラー又は振動プレートにて、転圧する。
転圧後、表層バインダーを塗布し表層骨材を散布する。

数量集計表

工　種	規　格	計　算　式	単　位	数　量
伸縮装置取替工	MMジョイントDS型同等品	5.200+3.400	m	8.600
殻運搬処理	コンクリート	(1.532+0.964)x0.080	m3	0.200
既設部材処分	鋼材撤去	8.600×13kg/m÷1000	t	0.112

（注意事項）

1. 本図面は、点検調書および現地計測による寸法を記載したものである。
2. 施工に先立ち現地調査を行い、図面との整合性を確認すること。
   併せて監督職員の了承を得たうえで施工を行うこと。
3. 伸縮装置と地覆が交差するA部については、遊間プレートを除いて
   施工すること。遊間プレートの延長は現地ではつり後に設置可能な延長
   を計測し確定させること。

市野々橋

四　万　十　市			
工事種別	令和8年度　道メンテ　第1-4-1号 市道市野々線（市野々橋）橋梁修繕工事		
図面名称	伸縮装置取替工詳細図	縮　尺	図示
路線名	市道市野々線		
工事箇所	四万十市　西土佐江川　地内		
設計種別	実施設計	図面番号	4/4
事務所名	四万十市　産業建設課		
会社名			